

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [佐賀市立芙蓉小学校] 担当教諭 [井上泰彦 飯盛直子]			
児童生徒の学年・参加人数（複数学年であれば学年別に）：[6年 22名] [年 名] [年 名]			
実施期間： 平成 19 年 5 月 ～ 平成 20 年 3 月			
交流：無・ 有 （国名[インドネシア] 学校名[スタ・ダルマ小学校] 学年[6年] 担当教諭[スマントラ先生]）			
実施教科・時数 <small>（関連させたものをすべて）</small>	教科	単元名	時数
	総合	アートマイルで国際交流をしよう	20 時間
	国語	テーマについて話し合おう	1 時間
	国語	依頼の手紙を書こう	2 時間

■作品について教えてください。

題（テーマ）	ふるさと
絵に込めたメッセージ	自分たちの住んでいる地域のよさを知ることを通して相手の国を知ることが、世界の平和について考えることにつながる。自分のいいところやこれから先何を大切に生きていくかということも考えた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5 月	実行委員会組織・計画立て アートマイル企画書作成	一昨年の YUGE キッズゲルニカ展示、去年のアートマイル壁画プロジェクトの参加から、「来年はぼくたちも世界の人といっしょに絶対参加したい。」と思っていた。	総合 国語
情報 収集	6 月	獅子舞練習①～⑤ 祇園祭参加 ドラえもんプロジェクト インドネシアについて情報収集	この祭にこめられている地域の人々の願いや熱い思いを知り、中途半端な気持ちで体験するわけにはいかないと感じていた。自分たちのことを知ってもらいたい。インドネシアについてもっと知りたい。	総合
テーマ 検討	5 月	ウェビング 実行委員会素案提案 相手校にもアイデアをメールで送付	去年全校で出し合った「ふるさと」のよさの中から、自分たちが興味を持ったことをもっと深く調べたり体験したりして、それを他の国の人に直接伝え、他の国の人からもそれぞれのよさを大切にしているということを教えてもらいたい。	総合 国語
制作	10 月 ～ 2 月	絵画制作（芙蓉小学校） インドネシアに送付 絵画制作（スタダルマ小学校）	下描きは実行委員会がし、休み時間にみんなで色を塗った。ふるさとのよさが伝わるといいなという思いをもっていた。	休み時間
鑑賞	11 月 3 月	文化発表会で中間発表 全校（芙蓉小中学校）にて鑑賞会 スタダルマ小（インドネシア）春日小（熊本県）とビデオ会議で共同鑑賞会 卒業式会場に展示	ぜひ、全校の児童生徒や地域の人にも自分たちの思いを知ってもらいたい。 ビデオ会議では名前を呼んだら手を振ってくれてうれしかった。もっともっと交流をしていきたい。	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に1～5まで記入してください。順位のないものも記入してください）

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

順位	つきたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
3	コミュニケーション・スキル	5・④・3・2・1	自分たちの思いが伝わるよう、写真を準備したり英語の練習をしたりしていた。
	情報活用能力（収集・発信）	5・④・3・2・1	自ら体験したり人と触れ合ったりすることを通して、ふるさととのよさを肌で感じていた。
4	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5・④・3・2・1	ビデオ会議では、相手の反応にうなづいたり笑顔で返したりしていた。
5	協同作業をする力（役割・段取り）	5・④・3・2・1	実行委員会を中心に役割分担をして、1年間を通して計画的に活動することができた。
2	異文化の理解	5・④・3・2・1	自分たちがふるさとを大切に思うように、相手にもふるさとがありそのよさを感じているということに気づくことができた。
1	自文化の理解・自分を見つめる	5・④・3・2・1	400年伝わる獅子舞を自ら体験し、その祭りかける人々の思いを感じるすることができた。
	表現力	5・④・3・2・1	文化発表会や校内鑑賞会で、活動内容や思いをスピーチやポスターで知らせることができた
	学習を追究する意欲	5・④・3・2・1	国際交流をして正解の平和をめざしたいという思いをもって、年間をとして活動できた。
	その他（具体的に記入）	5・4・3・2・1	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>3年前にユゲ・キッズゲルニカを鑑賞し、交際交流をして世界の平和をめざしたいという当時4年生だった子どもたちの願いが実現できたこと、本校の活動が年度や学年を越えてつながりのあるものになったことに意義があった。また、自分たちのふるさととのよさを理解するために、自ら祭りに参加し、その歴史や人々の思いに触れることができた。直接体験を通して活動できたことが児童にとって大きな意味をもたらすと考える。さらに、自文化を追求する活動や絵画制作をする時には常に相手（スタダルマ小学校の子どもたち）への意識があった。そのため、活動後半にビデオ会議が30分程度しか実現できなかったが、児童の様子はとても満足げだった。「これからも、ふるさとを大切にしていきたい。」「もっと交流をしていきたい。」「外国のことをもっと知りたい。」というような今後につながる意見をたくさん聞くことができた。</p>	<p>アートマイル壁画プロジェクトは相手校との共同活動なので、お互いによく意思の疎通が図られることが大切である。子どもたちの思いを形にし、より高い教育的効果を得るためにも、教師が事前に綿密な打ち合わせをし、適時に交流活動や児童同士の情報の共有をすることが望まれる。そうした面で、指導する側の意識やハード面での改善が必要だったと今回の活動を振り返る。</p>

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

- 必要な情報だけを得るためにメーリングリストの整理があったらよかったですと思います。